（様式６号の２）

配　置　予　定　技　術　者　の　資　格

商号又は名称＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（対象工事名：　　）

氏名 ／ 項目	「記載例」○○　○○			
最終学歴	○○大学工学部土木学科 ○○年卒業			
法令による免許等	（例） １級土木施工管理技士・ １級建築施工管理技士・ 技術士（建設部門、農業土木、林業部門の森林部門） 監理技術者資格等 （取得年及び登録番号） 監理技術者講習 （修了年月日及び修了証番号）			
対象工事における現場代理人との兼務（予定）の有無				
現在従事している工事名等	なし　又は　○○○工事			
当該技術者が兵庫県等の他の一般競争入札、公募型一般競争入札又は制限付き一般競争入札の配置予定技術者となっている工事名	なし　又は　○○○工事			

（注）１　法令による免許等については、免許等を証する書面の写しを添付してください。また、直接的かつ恒常的な雇用関係（申込期限日以前に３か月以上の雇用関係）があることが分かる書類（健康保険被保険者証等）を併せて提出してください。

２　配置予定技術者は３名以内で記載し、契約締結後は、上記に記載した技術者の中から専任で配置してください。また、現場代理人を兼務させる場合は、兼務(予定)の有無を記載してください。兼務(予定)が無い場合は、様式第６号の３を提出してください。

３　同一の技術者を重複して複数の工事の配置予定技術者とする場合において、他の工事を落札したことにより配置予定の技術者を配置することができなくなったときは、入札してはならず、入札参加申込みをした者は直ちに当該申込みの取下げ又は入札の辞退を行ってください。

また、本件工事が落札候補者となった最初の工事である場合は、その他の工事については本件工事の落札候補者となったことを理由に落札の辞退を行ってください。

なお、本件工事より先に他の工事の落札候補者となったときは、本件工事については他の工事の落札候補者となったことを理由に落札の辞退を行ってください。

４　対象工事における配置予定技術者と現場代理の兼務（予定）の有無欄に有の場合は、現場代理人の資格（直接的かつ恒常的な雇用関係直接的かつ恒常的な雇用関係（申込期限日以前に３か月以上の雇用関係））のみ審査します。

他の工事との現場代理人を兼務させようとする場合は、契約締結後に「現場代理人の兼務に関する事務取扱要領」に基づき、発注者と協議してください。

５　添付資料は、Ａ４サイズに統一してください。